

はじめに

沖縄県は温暖な亜熱帯海洋性気候の下、貴重な野生生物が数多く生息し、豊かな生態系を育むサンゴ礁が広がる海に囲まれ、大小160もの島々からなる島しょ県であります。

このかけがえのない豊かな自然環境は、世界に誇れる宝であるとともに、人々を魅了し引きつける要素であります。

人口の増加や観光客数が5年連続で最高を記録するなど、経済が順調に成長する一方、いかに豊かな自然環境を残し、劣化させることなく次世代へ引き継ぐかが私たちの責務であると考えています。

しかしながら、本県の環境の現況としましては、廃棄物の不法投棄や赤土等による海域汚染等の問題に加え、地球温暖化といった地球規模の問題など、今後取り組むべき課題も多く残っています。

県では、沖縄21世紀ビジョン基本計画を平成29年5月に改定し、また、沖縄21世紀ビジョン実施計画（後期：平成29年度～平成33年度）を同年10月に策定しております。

こうした状況を踏まえ、平成25年4月に策定した第2次沖縄県環境基本計画（以下、第2次基本計画）の改定に向け取り組んでまいりました。第2次基本計画は、本県の環境基本条例に沿って、沖縄21世紀ビジョン基本計画やその他関連計画を環境面から推進する計画となっております。

第2次基本計画の残り期間が5年となる中、同計画で目標とする「豊かな自然環境に恵まれた安全・安心でやすらぎと潤いのある沖縄県」を実現するためには、県民の皆様と行政が一丸となって、連携、協力しながら、積極的に環境保全に取り組んでいくことが重要であります。県では、第2次基本計画において、その施策展開を実施していくこととし、環境保全への取組を確実かつ効果的に進めてまいりますので、県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成30年10月

沖縄県環境部長 大浜浩志